



かわまちづくり事業に関する大阪成蹊大学との連携授業

開催日時：令和8年4月22日（水）
午後3時～4時40分

開催場所：大阪成蹊大学

大学との連携は、本市との連携協力に関する協定に基づくもので、地域が抱える様々な問題等に対して企業や大学等との幅広い連携をもとに持続可能な社会の実現に向けた取組みを進めるものです。

今年度、官学連携を行う大阪成蹊大学経営学部経営学科（公共政策コース）3回生13名の学生の皆さんには、「淀川河川敷を活用した地域の活性化」をテーマとして、意見交換をしながら自ら学び考え、現地調査や先進地区への視察を行い、淀川河川敷の活性化につながる案を立案することを目標に1年間取組んでいただきます。

初回授業の様子

初回授業では、本市の特色や現状と将来予測についてレクチャーを受けた後、グループに分かれてワークを行いました。ワークでは、地域課題とその影響を書き出し、その中で特に重要だと考える地域課題を3つ挙げ、選定した理由と対策も併せてグループで共有し、意見交換を行いました。最後には各グループの代表者が発表を行いました。



受講した学生の感想（一部抜粋）



市の現状と課題を知ることができた。安威川以北と以南では交通の便や人口などに違いがあるとわかった。

少子高齢化というワードから身近な問題は何かあるのか想像しづらかったが、説明を聞いて考え方が変わった。



地域課題を自分ごととして考えることが難しかった。

